

恵みと真理のニュース



2019年2月の二次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

【証】



主はわたしを青草の原に休ませ／
憩いの水のほとりに伴い、魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる

私はバスが一日二回しか運行しない海の村で育ちました。不幸に村には教会がなかったです。親は熱心にお寺に通い、偶像崇拝をして村のあちこちで祭祀をしました。小学校に入った大きな村に住んでいる友達数人が教会に通っていると自慢しながら私を伝道しました。しかし、家から教会がとても離れていて通うことができませんでした。幼い心にも親の偶像崇拝をすることが友達に恥ずかしかったです。小学校6年生になって教会に通う方が担任先生になりました。教会の聖歌隊で指揮をしてたまにはオルガンの伴奏もする素晴らしい先生でした。先生は毎週、聖書の説を黒板の片隅に書いておきました。私ははじめその字を読みながらどんな有名な方が残した名言や格言と思いました。先生はよく私達に驚いた話をしてくれました。聖書の話と先生が経験した神様の恵みと奇跡に関する話でした。その先生の方のおかげで学校生活がとても楽しかったです。先生は私をとても愛してくださって、他の子供より私を熱心に伝道しました。以後、先生はわたしの人生の助言者になってくださり、私が重要なことを決定することに助言して私を正しい道に導いてくださいました。高校に進学して家を出て学校の近くに一人暮らしをしてからはじめて教会に通うことができました。願いが成し遂げられ楽しい心で教会に通いました。初教派、中高等部の学生の連合聖歌隊に入って夜ごとに共に賛美して練習をして神楽に祈りました。学校を卒業した後、半導体会社に入社してアンヤンに上がってきました。ところが職場生活をしながら信仰生活の熱心がやめました。会社の同僚が通う教会について行きましたが、その同僚の家の主人が通う教会に早天祈り会にもたまについて行きましたが、学生の頃の熱情が回復されませんでした。

そうするうちに結婚するようになりました。結婚式の日を決めて小学校の時の担任先生から連絡を差し上げるととても喜んでアンヤンまで来られて祈って祝福をしてくださいました。結婚してすぐ妊娠しましたが、つい自然流産になりました。私は衝撃を受けて落胆しました。結婚してから、教会に行かなかったのもっと恐れました。“早く、神様のふところに戻ろう。”と気がつきました。どの教会に通うか決められなく一人で悔い改める祈りをしてまた誰かが私を伝道するのを願って祈りました。そのように祈っている時3階で住んでいる恵と真理教会の区域長が訪ねて来ました。わたしの旦那が結婚したという話を聞いたその時から何ヶ月間、私を伝道するため祈ったとしました。区域長から導かれて区域員になり恵と真理の生徒になりました。真で愛が多くて聖霊充滿な区域長でした。初心者と違いがない私を教会の全ての礼拝に休まずにつれて通い毎日のように捧げる礼拝も私を連れて行きました。私は区域長が導かれるとおりに従順してついて行きました。聖歌隊に入って奉仕する生活をはじめました。熱心に教会を仕えて奉仕する私に神様が妊娠の福を与えてくださいました。子供がおなかにいるときから聖霊洗礼を受けました。続いて区域長の職分を受けて主のことに力を尽くしました。すると、舅の迫害が言葉で表現できないほど酷くなりました。総領家が教会に行くときと家が滅びるとしました。祭祀を行うため家に来る親戚が20名を超えました。家の大人まで迫害が酷くなりました。しかし、私は屈することなくもっと熱心に礼拝と奉仕と伝道に専念しました。家の祭祀をなくしてイエス様だけ仕える家庭になるように神様を仰ぎながら切に祈りました。区域の生徒達と教区の区域長と共に祈ってくださいました。まるで不可能だったことがついに成し遂げられました。19年ぶりに婚家で祭祀がなくなり家庭が福音化されたのです。また、親戚も1人1人、主の前に出て実家も福音化されています。あきらめなくて忍耐して祈りをして、祈りに答えられわたしの切ない期待と願いが成し遂げられる神様に感謝します。わたしの二人の息子を神様が愛してくださり、神様を畏れる生活をするようにしてもっとも感謝します。子供達は私より

教会生活を熱心にして小学生のときから毎年伝道賞を受けました。特に一番の息子は自分の友達を伝道するように私を助けてくれました。私が教会中心の生活をするように子供達が積極的に助けてくれて私が区域長20年、勤続賞を受けてまた、伝道賞を何回も受けることができました。神様が愛してくださって大きい息子は学校を卒業する前祈りをして願っていた国立癌センターに就職してくれました。神様に栄光を捧げます。長男が軍務をする中で扁桃腺が酷くはれて何回も病院で入院しましたが、完全に治療ができなくて心配しました。息子がまた軍の病院で入院した時、ちょうど区域長のセミナーが開かれました。神癒の祈りの時間に会長の牧師が具体的に病名を話しながら祈ってくださいました。牧師が“神様が、扁桃腺炎を治してくださいます。”と宣布する瞬間、私は感謝の涙を流しながら両手を挙げて大きい声で“アーメン！アーメン！”と答えました。牧師が祈ってくれたように息子が治りました。ハレルヤ！神様の詩篇23編の御言葉が今日のわたしの信仰告白になるようにしてくださいました。“主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴い 魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖／それがわたしを力づける。わたしを苦しめる者を前にしても／あなたはわたしに食卓を整えてくださる。わたしの頭に香油を注ぎ／わたしの杯を溢れさせてくださる。命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。”神様が賛美歌404章がいつも歌う感謝賛美になるようにしてくださいました。“大きい神様の愛、言葉で表現できない神様の大きい愛、測ることができない、永遠に変わらない愛、生徒よ、賛美せよう。全ての栄光を神様に捧げます。これからも与えてくださる神様の恵みがとても期待しながらわたしの心に希望が溢れます。わたしの残った人生をただ、主に忠誠をして生きて行きます。



【信仰コラム】

“あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう” (マタイによる福音書 5:7)

本分の“哀れむ”という言葉は‘その立場になって同じ心情で私物を見て感じること’を意味します。そうして理解して同情し、さらにその人が当面した混乱を打開するよう手伝います。今日の社会は全てのことを経済的な価値で計算して利害得失を計る打算的な人間関係が日増しに深化しています。哀れむ心を持った人は他人に悪を行いません。哀れむ心は人間関係を暖かくして社会を明るくする原動力です。私達が常に哀れむ心を持つためにはどのようにしなければならぬかを調べてみます。

第一、人は誰でも不足で情弱なので誤りを犯す可能性があるという事実を認識して勘案すべきです。他人が避難を受ける程のことを行ったことをみて憤慨して避難していた人がある日、自分も類似な誤りを犯して避難を受ける事例を探してみるのには難しくありません。判断して定罪することがなくてはならず、またあるべきです。ただ、故意でした行為と不注意やミスによる行為は厳格に区分しなければなりません。哀れむ心を持って判断するためには“人は不完全で誰も類似な行動をする可能性がある”という考えを持つべ

あわれみ深い人

きです。律法の尺度だけで相手を判断すると定罪することしかない反面、哀れむ心で判断すると同情と理解もするようになります。第二、他の人の不幸を自分の事のように扱わなければなりません。イエス様は人々の苦痛と悲しみをまるで自分のことのように扱って許され、慰められ、治療なさいました。罪と悲しみと苦痛に絡んでいる人生を哀れんでくださり、教えられて癒され奇跡を施されました。そして罪を贖われました。どんな人もイエス様のような哀れみの人々に施すことはできません。ただ私達はイエス様に見習って最大限哀れむ心を持って隣人を理解して許し手掛けるべきです。この世で最も可愛い人、本当に哀れみを受けるべきの人は魂が剥がれていて飢えている人、罪とサタンの捕虜になっている人です。従って、聖徒達はこのような人々が神様の怒りと審判を受けて地獄刑罰を受けることを考えて憐憫の情を感じるべきです。そうして様々な犠牲を忍耐して彼らに福音を述べ伝えなければなりません。第三、キリストの中で変化された自分の身分と位置を深く認識しなければなりません。人が劣等感を持つと他人を哀れむことができません。イエスキリストを信じる人は自分の身分と位置を深く認識すべきです。‘王である祭司’という身分を持つ

ようになったという事実を確に認識する聖徒は劣等意識に陥りません。皆さんは、王である祭司の身分を持って天に座した位置にいる自分の身分と位置を認識してください。そうすると他の人々について哀れむ心を持つようになります。第四、自分が神様の哀れみを被って生きているという事実を常に考えるべきです。聖徒達が持つ哀れみの性格は三つです。天性的なこともあり、教育と経験を通じて持つことがあり、神様の哀れみを体験することで出る哀れみがあります。私達は神様から限りない許しを受けました。神様の哀れみを過去にも被って今も被っていて、今後も被らなければなりません。なので私達は神様の無限な哀れみを被ったことについて深く感謝して常にこれを想起することで哀れむ心を持つべきです。‘あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう’という主の御言葉を注意すべきです。心が頑なで乾いている人、律法の尺度で判断して定罪だけする人は家庭と教会と社会を索漠にさせます。反面、哀れむ心を持った人は家庭と教会と社会を活気があって柔らかくしなければなりません。哀れみを受けるより哀れむ人がより幸いです。『チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中』

イエスの遺品はありません



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

歴史上有名な、または優れた業績を残した人が住んでいた家や遺品を保存して公開しているところが世界中にあります。もしイエスが遺品を残したら、多くの人がある遺品を見ようとするでしょう。展示館があれば世界で多くの人々が絶えず、その展示を尋ねて見るでしょう。しかし、イエスの遺品は一つもありません。イエス様がつけられた十字架の木または、その使用された釘そして、イエスの遺体を包んだものが保管された大聖堂があるといわれているが、学者たちは、操作されたものであるとします。イエスは、自分の家を所有していなかったので記念になるような家がありません。それだけでなくただ一つの遺品も残さないうでした。

その理由は何ですか？人々がイエスの遺品を神聖視して偶像化するからです。ユダ王国の第13代の王ヒゼキヤは、ダビデ王の後に最も顕著な人物として評価されます。ヒゼキヤは宗教改革を断行しました。山の高き所の神像を除去しました。その間に高き所に神殿があるので礼拝が軽視されてきたが、高き所の神像が除去されたので、神殿での礼拝が回復しました。ヒゼキヤは青銅の蛇を壊しました。青銅の蛇の由来はこうです。イスラエル人が出エジプトして荒野を行進していたうちに、神に恨み不平を言ったので神が火の蛇を送られました。人々が火の蛇に噛まれ死にました。

モーセが祈ったので、神の指示されるのを青銅で蛇を作って竿の上に付けたので火の蛇に噛まれた民がこれを眺めみると、生かになりました。モーセがそのまましたので竿につく青銅の蛇を見た者は生きようになりました。彼らはその青銅の蛇をカナンまで運ぶして行ったのです、ある日からは青銅の蛇を崇拜する始めました。ヒゼキヤ王はこの青銅の蛇を壊し「ヌフタン（青銅きれ）」と呼ばれていました。どんなものでも、これを礼拝する場所に置くと、偶像崇拜になります。イエスの遺品の一つ残さなかったのは、愚かで、迷いを簡単にさせられる人生のための配慮です。

聖徒たちは、イエスの遺品を探しません。その理由は、復活して天に昇りましたイエス様が聖徒たちの中におられるからです。イエスが十字架を付ける時が近くにきた時点で、弟子たちにこう言われました。「けれども今わたしは、わたしをつかわされたかたのところに行こうとしている。しかし、あなたがたのうち、だれも『どこへ行くのか』と尋ねる者はない。かえって、わたしがこれらのことを言ったために、あなたがたの心は憂いで満たされている。しかし、わたしはほんとうのことをあなたがたに言うが、わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って行かなければ、あなたがたのところに行き、助け主はこないであろう。もし行けば、それをあなたがたにつかわそう」

(ヨハネによる福音書 16:5-7) しました
「助け主」とはギリシャ語で「パラクルトス」だが、これを文字の通りに解釈すれば、「召されられてそばにいる方」という意味であり、意訳する「そばで弁護してくれる方」という意味を持っています。使徒ヨハネは、ヨハネの手紙第一2章1節で、イエス・キリストを「パラクルトス」と呼ばれていました。イエスが言われた「他の助け主」は、聖霊様を指します。

「助け主」であるイエスが離れて去る、他の助け主」聖霊様が来らのをどうして聖徒たちに有益ですか？いくつかの理由があります。

第一に、イエスはこの世に肉体を着て来て、この地におられる時は空間の制限を受けました。だから、彼の公生涯の期間にあちこちに通いながら、人々に言葉を教えました。しかし、「他の助け主」聖霊様は、空間の制限を受けず、聖徒たちのために働かれます。

第二に、イエスは決められた公生涯の期間に限定された地域の人々だけ福音を伝えました。「他の助け主」聖霊様は聖徒たちの中に臨んで福音の証人になってきた世界に福音が伝えられるようになさいます。

第三に、イエスは復活された後、昇天の直前に「あなたがたに命じておいた いっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」(マタイによる福音書 28:20) しました。イエスは昇天しましたが他の助け主」聖霊様が来られ、聖徒たちがいつでもどこでも、イエス・キリストの臨在を経験し生きられます。したがって、イエスが離れて行って、他助け主」聖霊様がいらっしゃることが世の中に生きている聖徒たちに有益です。

また、イエスは言われた、「もうしばらくしたら、世はもはやわたしを見なくなるだろう。しかし、あなたがたはわたしを見る。わたしが生きることで、あなたがたも生きるからである。その日には、わたしはわたしの父におり、あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう」(ヨハネによる福音書 14:19,20) しました。イエスの昇天後、十日が過ぎて、ユダヤ人の祝日であるペンテコステの日に120人の弟子たちが聖霊降臨を通じて、聖霊に満たされると、他の助け主が来られて、彼らと一緒にされることを実感するようになりました。助け主聖霊があなたがたと共におられ「あなたがたが私にあって、私はあなたがたの中にあることを、あなたがたは、知るのである」とした言葉には、いくつかの意味があります。

第一に、助け主聖霊によって私たちは、イエスと非常に親密な関係の中に生きていくのを意味します。

これは人間が持っている孤独の問題への解決策です。孤独の根本的な原因は、人類の祖先が神に逆らって罪を犯したことがあります。犯罪によって追い出された人生になりました。孤独の問題は、イエス・キリストを救い主として受け入れて、聖霊に満たされたときに解決されます。イエス・キリストを信じるとき、神様父を受け入れを取り得ます。そうするときに捨てられた心情が治療されます。聖霊に満たされて、「あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう」空間は消え、主の喜びがいっぱいになります

第二に、助け主聖霊様によって、私たちはイエス様の世話の中で生きていくことを意味します。弟子たちはイエスと一緒にいる時に問題に会っても心配や不安がありません。イエスが問題への適切な解決をしてくださったからです。人々が心配して恐れる理由は何ですか？心配と恐怖の根本的な原因は、神の言葉に逆らった、神を離れたからでした。それにより経済的な、社会的な心配と恐怖、病気と死などの心配や不安が生じました。イエス・キリストを信じて罪の赦しを受け、神の子どもになると、死の不安や恐怖から解放されることが出来ます。

私がイエスの中に、イエス様が私の中でおられることを知っている確信したときに、様々な不安や恐怖を克服することが出来ます。

第三に、私たちが主の能力を着て生きることを意味します。イエスつけられ死なれた後、イエス様の弟子たちは劣等意識と不満に陥りました。これらの弟子たちが急に変化して能力ある人になりました。その理由は、彼らが聖霊に満たされたからです。助け主聖霊様によって私がイエスの中に、イエス様が私の中でおられることを悟ると、積極的に能動的になって能力のある人になります。

「あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう」この事実を知ったら、私たちの生活に大きな変化が起こります。

第一に、イエス・キリストによって生きて、イエス・キリストのために生きていきます。コロサイ人への手紙1章16節に、イエス・キリストを指して記録されることを「万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も權威も、みな御子にあって造られたからである。これら いっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。」としました。

第二に、イエス・キリストを尊くする努め生きていきます。使徒パウロは、告白するのを「そこで、わたしが切実な思いで待ち望むことは、わたしが、どんなことがあっても恥じることなく、かえって、いつものように今も、大膽に語ることによって、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることである。わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である」(ピリピ人への手紙 1:20,21) しました

第三に、イエス・キリストに依存して生きようになります。イエスご自身が言われた、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは一つできないからである」(ヨハネによる福音書 15:5) しました。「あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう」という言葉は、助け主聖霊様によって、私たちが毎日毎瞬間主と同行する喜びと幸福を享受できるようになったのを意味します。したがって、イエスと同行する恩寵を楽しみ、感謝して感激して生きて行くようにしましょう。

イエスは2千年前にこの世に来られ、父から与えられた使命を果たして行ってただ去っていくではありません。驚くべきことに、他の助け主聖霊様を通して毎日毎瞬間すべてに聖徒たちを教え、助けておられ導きまた慰勞と治療なすることをなさいます。私たちが聖霊様に頼って求めありがとうと同時に、イエスがしたのが出来ます。イエス様に頼って求めありがとうございませると同時に、聖霊様それほどしたのになります。聖徒たちは、イエスの遺品を探しません。その理由は、復活し昇天されたイエス様が、他の助け主聖霊様を通して聖徒の中におられるからです。あなたはただ主イエス・キリストのみ仕え、「あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおる」これを、悟りと確信を持って生きて行かれるのを願います。